

12月号 広報みぶ  
町の花 ゆうがお

発行 桜木県壬生町 昭和56年12月15日



## 今年の主なできごと

- 1月。各界代表者の出席を得て新年祝賀式、中央公民館で開催。  
・中央公民館で町民の意見・要望を聞く会開く。  
・新成人者457人を迎える、中央公民館で成人式を行う。
- 2月。米飯学校給食試食会を各小中学校で行い、児童、生徒、父兄6,000人が参加。  
・青年団協議会が第2回町民マラソン大会行う。
- 3月。壬生・稻葉両中学校閉校。  
・睦小学校体育館完成。  
・新婚農業後継者激励ならびに結婚相談員に感謝する会、中央公民館で開催。  
・老人クラブ連合会が中央公民館で第3回演芸大会開く。
- 4月。壬生中学校開校。  
・役場機構の一部改革により町史編纂室新設。  
・安塚地区コミュニティ推進協議会発足。
- 5月。交通事故抑止のため緊急町民総決起大会、中央公民館で開く。  
・働く人たちの祭典、第52回統一メーデー行われる。  
・壬生中学校体育館建設はじまる。
- 6月。町議會議長に大栗丹波氏、副議長に橋本辰氏就任。  
・壬生小学校の校舎増改築工事はじまる。
- 7月。25人の農業委員決まる。  
・婦人防火クラブが誕生。  
・児童文化教室、旧稻葉中で開く。
- 8月。下都賀郡民体育祭で本町が18年ぶりに総合優勝。  
・町立図書館、旧壬生中へ移転。  
・消防夏季点検、安塚小学校校庭で行う。  
・恒例の盆踊り大会、壬生小学校校庭で行う。
- 9月。敬老会、3会場で行う。  
・第6回交通安全町民大会、中央公民館で開く。
- 10月。文化協会の第3回文化祭、中央公民館などで開く（11月まで）。  
・第4回老人スポーツ大会、町総合運動場で行う。  
・第12回町民歩け歩け大会行う。
- 11月。自治功労者15人を表彰。  
・町議會議長に小菅良一氏就任。
- 12月。消防通常点検、壬生小学校校庭で行う。  
・予算編成を前に町民の意見・要望を聞く会、中央公民館で開く。  
・清掃センターの火入れ式行う。

恒例の盆踊り大会（8月）



思い出いっぱい

児童文化教室（7月）



一般参加者が多かった

文化祭のお茶会（11月）



## カメラで追う

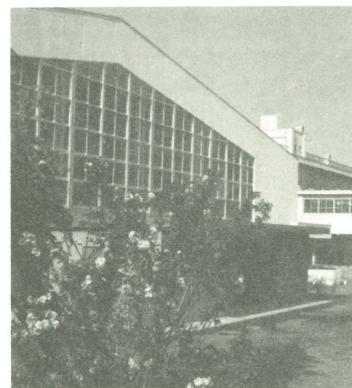
## 昭和56年のしめくくり

十年來の建設構想が実り落成した  
壬生中学校の祝典（4月開校）



晴れやかに…心新たな成人式（1月）

待望の睦小体育館完成（3月）



朝日をうけて  
町民歩け歩け大会（10月）



1月は“家庭対話の月”です

副議長に  
小菅良一氏が  
就任

11月7日開かれた臨時町議会において、副議長橋本辰藏氏の辞職に伴い、副議長の改選が行われ、小菅良一氏が副議長に就任されました。



小善良一副議長



町長室に報告に訪れた荒川体協会長(右)  
とテニス部役員(右から三、四番目)

県に部ニステ式硬盤協体

町体育協会会籍式テニス部・玉田  
降郎氏によると、県民功劳賞が贈られ  
た第一回県民アーチミリード・スポーツ  
大会の開会式終了後、県体育協会  
長・知事から授与されました。  
県民功劳賞は、町体育協会が県  
民のスポーツ振興をより一層図る  
ため、柄の葉園休記念スポーツ  
振興基金で制定したもので、特に  
心者の指導育成を行ななど、この  
クラブの発足により貢献が三百  
人を超えるほどに厚く、(右)

56.12.15発行

# 万一に備える

## 町消防団が通常点検

——永年勤続者や消火協力者など表章

表彰をうける児童

また、この日は永年勤続者や消防協力者、防火ボランティア入選者などの表彰がありましたが、受賞された方々は、次とおりです。（敬称略）

操法の点検を受けました。この点検は、車をつらね放水点検を行い、続いて生牛駆前から生牛小までを自衛隊音楽隊を先頭に分列行進しました。

団員(〇三名)の通常点検は、12月1日午前8時30分から、壬生小学校庭を主会場に多数の来賓を迎えて行われました。

この日は肌寒い天候のなか、まず佐藤消防長(町長)から人員紹介

壬戌丁酉方明

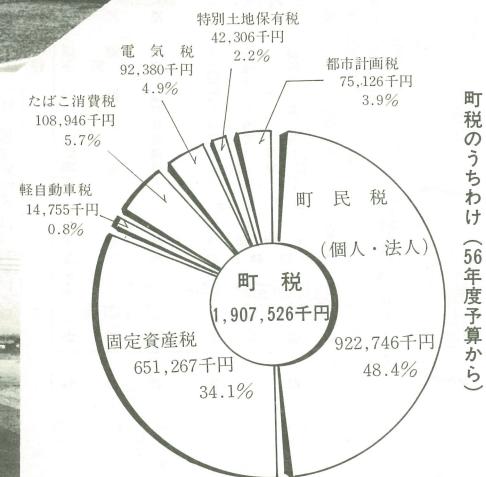


ほぼ外観もできあがり完成間近の壬生中体育馆

改良舗装工事の終った一般町道  
No.2-332号線（六美町地内）

# 財政状況

昭和56年度上半期



1人当たりの町税負担額 53,925円

1世帯当たりの町税負担額 196,086円

## 特別会計予算の執行状況

昭和56年9月30日現在 単位：千円

区分	会計名	国民健康保険	公共下水道	国谷区画整理	奨学資金	上水道
予 算 額		1,163,952	415,100	258,102	1,402	収益的 収入 218,615
歳 入 濟 額 (取 入 率)		540,598 (46.4%)	95,413 (23.0%)	58,935 (22.8%)	1,198 (85.4%)	113,961 (52.1%)
歳 出 濟 額 (支 出 率)		787,902 (67.7%)	335,463 (80.8%)	202,161 (78.3%)	762 (54.4%)	99,088 (45.3%)

# の公表

昭和56年度予算のうち、4月から9月までの上半期に、みなさんが納めた税金や地方交付税がどのくらい入り、それがどのように、いくら使われているか。…これは、町民のみなさん町の財政状況をご理解いただき、今後ともご協力いただきため、毎年2回行っている財政状況の公表で、今回は上半期の状況です。

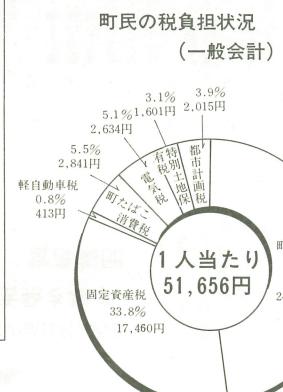
## 一般会計予算の執行状況

昭和56年9月30日現在

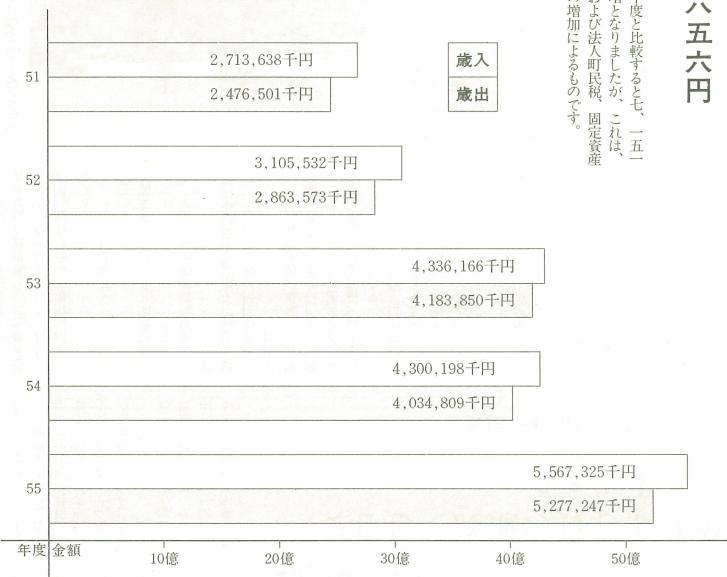
予算額	収入(支出)済額	額
-----	----------	---

歳 入	歳 出	予算額	( ) 内は支出済額 単位:千円	支 出 率
・予算額 5,726,478千円	・予算額 5,726,478千円	歳 入	歳 出	支 出 率
・収入済額 2,464,905千円	・支出済額 2,086,807千円	歳 入	歳 出	支 出 率
・収入率 43.0%	・支 出 率 36.4%	歳 入	歳 出	支 出 率
取入率 予算額 ( ) 内は収入済額 単位:千円	予算額 ( ) 内は支出済額 単位:千円	歳 入	歳 出	支 出 率
54.6 19億 7,526(10億42,065) 町 税	教育費 15億71,146( 5億56,687) 35.4	歳 入	歳 出	支 出 率
69.4 11億24,983( 7億80,733) 地方交付税	衛生費 9億1,920( 4億84,301) 53.7	歳 入	歳 出	支 出 率
0 7億47,500 ( 0) 町 債	総務費 8億64,324( 2億48,312) 28.7	歳 入	歳 出	支 出 率
17.7 7億 1,281 (1億24,321) 国庫支出金	土木費 7億46,368( 2億 6,408) 27.7	歳 入	歳 出	支 出 率
10.6 3億51,768 (37,280) 県 支 出 金	民生費 5億13,346( 2億 4,101) 39.8	歳 入	歳 出	支 出 率
100.0 2億9,078 (2億90,078) 緑 越 金	農林水産業費 4億29,944 (33,377) 7.8	歳 入	歳 出	支 出 率
6.6 1億43,826 ( 9,525) 緑 入 金	公債費 2億81,117( 1億27,228) 45.3	歳 入	歳 出	支 出 率
19.5 1億39,278 (27,133) 諸 収 入	消防費 1億87,956 (88,928) 47.3	歳 入	歳 出	支 出 率
48.1 82,843 (39,868) 使用料、手数料	議会費 98,936 (46,459) 47.0	歳 入	歳 出	支 出 率
25.9 75,400 (19,554) 地方譲与税	商工費 98,784 (84,541) 85.6	歳 入	歳 出	支 出 率
42.3 63,000 (26,650) 自動車取得税	予備費 16,448 ( 0) 0	歳 入	歳 出	支 出 率
53.5 52,213 (27,908) 分担金、負担金	労働費 16,182 ( 6,465) 40.0	歳 入	歳 出	支 出 率
50.2 26,700 (13,398) 利用税交付金	災害復旧費 4 ( 0) 0	歳 入	歳 出	支 出 率
185.1 14,260 (26,392) 財産収入	諸支出金 3 ( 0) 0	歳 入	歳 出	支 出 率
0 3,051 ( 0) 寄付金		歳 入	歳 出	支 出 率
0 2,771 ( 0) 特別交付金		歳 入	歳 出	支 出 率

地方債現在高	
一般会計	2,730,127千円
教 育	1,304,950
土 木	356,138
民 生	265,180
衛 生	192,526
同和対策	157,880
農 業	101,459
労 動	52,620
そ の 他	299,374
国谷土地地区	56,000千円
画 整理事業	
上水道事業	1,360,056千円
公共下水道	688,875千円



一般会計決算額の推移



町の

町 税

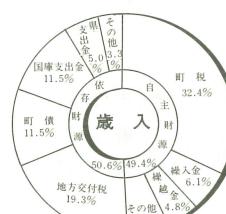
一人当たり五  
一、六五六円

昭和55年度納めていたいた町  
均五十一、六五円とあります。  
内訳は円グラフのとおりです。

前年度と比較すると、一五一  
円増とあります。これは、平  
均より法人民税、固定資産  
税等の増加によるものです。

## 台所はこのように

昭和55年度歳入(一般会計)



昭和55年度の決算報告

①

財政状況の公表は、町民のみなさんに、町の財政が  
どのようにになっているか知っていただき、ご理解をい  
ただこうというものです。

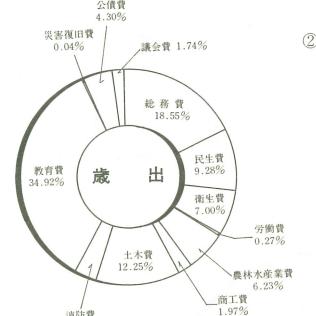
今回は昭和55年度の決算状況についてお知らせしま  
す。

昭和55年度は、公共投資の拡大を背景に長期にわた  
る不況を克服し、内需を中心とした景気回復も着実に  
進みつつありますが、依然として特例公債を含む大量  
の公債に依存せざるを得ない財政収支の不均衡等嚴  
しい情勢にありました。こうした中で、当町では地域の  
実情と住民の行政需要に対応するため計画的に諸施策  
の推進に努め、節度ある財政運営につとめました。

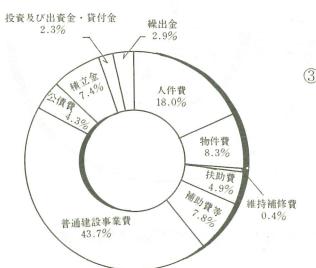
## 清掃センター

## 学校体育館など建設

昭和55年度歳出(一般会計)



性質別支出状況(一般会計)



昭和55年度の一般会計は、歳入総額55億6千7百32  
万5千円で決算しました。

これを前年度と比較すると歳入では29.5%の増、歳  
出においては30.8%の増でした。

グラフ①は、歳入の主なる款について予算の占める  
割合を示したものです。このグラフから、地方交付税  
や国庫支出金などのいわゆる「依存財源」が総収入の  
50.6%を占め、町税などの「自主財源」が49.4%であ  
ることがわかります。

どのような事業にどのくらい使われているか。歳出  
はグラフ②のとおりです。教育費、総務費、土木費、  
民生費、衛生費の順になっています。

グラフ③は、性質別支出の状況を示したもので  
す。全体の43.7%を占める建設事業費は、壬生中学校や  
小学校体育館の建設をはじめ清掃センター建設事業  
などによるものです。

次いで人件費は、職員などの給与に当たります。  
また物件費は、事務に関する消耗品や備品に用いる  
費用です。

補助費は、各種団体等への補助が主なものです。

増進事業により、新しい農地制度のしくみで農地の貸し借りが進められています。

この制度のしくみは、農地法の適用は受けないで、農家の申し出によって、町が農地の借付、売買などの利用増進計画を作成し、農業委員会の決定を経て、これを実現することにより、小作権などが生まれないで、安心して

安心して農地の貸し借りが  
できます

— 農用地利用增進事業 —

標準小作料が適用される  
貸主に対して流動化獎励金が  
支給する  
流動化獎励金の金額（土アール  
当たり）  
契約期間 三年以上六年未満  
課または農業委員会へ相談くだ  
る

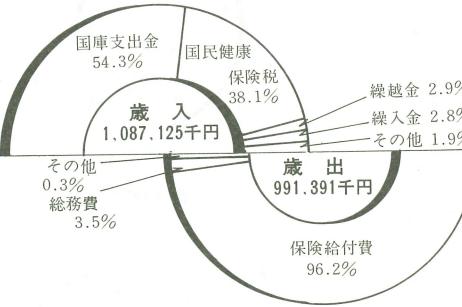
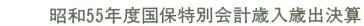


町は、県内有数の  
麦の品質向上めざし  
**活発さ増す**  
**営農集団**

さ。	本町の農地流動化推進員は次の とおりです。
戸崎 勇	本村 出井 森田 章次 北小林 城南 鹿島 沼
篠原 恒夫	森田 正雄 喜一 岩本 沼 向日 沼 朝昭
星野 茂	中 松原 原 開口 原 和一 原 多一
青木 三平	泉 泷木 田 渡辺 田 信 田 朝昭
荒川 嶽	上 田 上 加藤 上 田 上 田
鈴木 弘	市川 太一 安塚 一 表町 一 表町 一
神長 信雄	中央 一 中央 一 中央 一 中央 一
荒川 明	上 町 上 町 上 町 上 町
浜野 宝	大 町 大 町 大 町 大 町
高山 信	中 一 中 一 中 一 中 一
渡辺 一男	中 一 中 一 中 一 中 一
英明 田中	中 一 中 一 中 一 中 一
義明 国谷	中 一 中 一 中 一 中 一
英雄 国谷	中 一 中 一 中 一 中 一
早乙女 藤平	六美 南向 六美 南向 六美 南向 六美 南向
猪尾 万作	鯉 沼 鯉 沼 鯉 沼 鯉 沼
高橋 俊雄	寺 内 寺 内 寺 内 寺 内
豊 俊吉	久 向 久 向 久 向 久 向
山家 本郷	安塚 二 安塚 二 安塚 二 安塚 二
惣吉 本郷	本郷 一 本郷 一 本郷 一 本郷 一
山家 上町	上町 一 上町 一 上町 一 上町 一
惣吉 金ヶ瀬	上町 一 上町 一 上町 一 上町 一
助 谷	中 一 中 一 中 一 中 一
助 谷	中 一 中 一 中 一 中 一
宏塚 一	中 一 中 一 中 一 中 一
宏塚 三	中 一 中 一 中 一 中 一
宏塚 一	中 一 中 一 中 一 中 一
早乙女 男一	中 一 中 一 中 一 中 一
宏塚 一	中 一 中 一 中 一 中 一

**申込先** 中入審切  
**問いかわせください。** くわしくは、教育委員会へお  
申込先 講習会場  
課外参加料30円  
を添えて申し込みください。ただし申し  
込み締め切り後への取  
消しについての参加  
料の返戻はしません。  
（3月23日㈯）

第三回田畠マリソ



歳入歳出の差引額は九千五百七十三万四千円の墨字となり、このうち四千百万円を国民健康保険給付基金に積立て、残額五千四百

（公共下水道）  
歳入は四億一千七百六十四万円  
歳出は四億一千三百四十一  
円とそれより増加となりました。

水道事業会計

万八千円となり、その差引額一千五百二十二万六千円が黒字となつて、昭和56年度に繰越しました。

獎學資金

(収入) 収益の		(支出)			
区分	予算額	決算額	区分	予算額	決算額
水道事業収益	千円 170,856	千円 185,174	水道事業費用	千円 170,856	千円 160,123
営業収益	168,380	176,435	営業費用	110,496	100,574
営業外収益	2,476	8,740	営業外費用	59,660	59,549
			予備費	700	0

歳入は二億四百十四万円、歳出  
は一億八千五百十万千瓦四十円で  
なり、その差引額一千八十六万円と  
千円を昭和六年度に繰越しました  
となりました。

水道事業

(収入) 資本的		(支出)			
区分	予算額	決算額	区分	予算額	決算額
資本の収入	千円 551,856	千円 516,855	資本の支出	千円 580,579	千円 539,612
企業債	550,000	515,000	建設改良費	564,994	524,327
資本剩余金	1,856	1,855	企業債償還金	15,285	15,285
			予備費	300	0

たばこは専売品であり、その利益は国庫に納付されています。皆さん町内にたでてお買ひ求めるにあがとうござります。たばこは専売品であり、その利益は国庫に納付されています。皆さん町内にたでてお買ひ求めるにあがとうござります。

たばこは町内で  
お買い求め

56.12.15発行

地域のお年寄りに憩いの場、交流の場を...と小菅安久、稲葉郵便局長と日奈建設の協力で、上稲葉地区内に稲葉安ららの「庄」が完成したので、稲葉地区老人クラブ連合会(梁島松一社長)では1月21日、開業式と感謝会を開き、急速ゲートボール大会を行いました。

最近お年寄りの間でゲートボールがいい人気となりました。そのためのコートが稲葉地区にはないため、練習などに手障害をもたらし、困っているのが見えたね。小菅さんか、自分で土地を譲り、アーチバーをお年寄りに開放することになり、これが聞いたら日奈建設の三下栄一社長が資材と労力を奉仕し、1か月

雨では水漏りができるよう排水を考え、一面づくれ、駐車場、東側にはスケート場が完備した六十六平方メートルの休憩場「安らぎの庄」が設備されている

立派なもので、「さあ、あたりお年寄りを中心利用されますが、将来は若い人たちにも利用してもらいたい」と、人と人とのつながりや明るい家庭づくりに役立てて欲しい」と小菅さんは話しています。

## 上稲葉にお年寄りの 安らぎの広場できる ゲートボール場と休憩場などが完備

手づくりの新鮮な野菜を消費者に

### 4HCと生活改善クラブが合同即売会



盛況だった野菜即売会

4月クラブ(梁島一夫会長)と生活改善クラブ(山川好子会長)

生徒改善クラブ(山川好子会長)と会員が

費者を食べてもらうと、会員が

栽培した大根、レタス、キャベツ、

えり、ジャガイモなどの野菜を持ち寄り即売会しました。

また、手作りの漬物や七色と

うながら、手打ちの清けめ、まんじゅうなどを販売し、午前9時の売り出とともに大勢の客で賑わい、正午にはほとんど売り切れの状態でたいへん好評でした。

また、手作りの漬物や七色と

うながら、手打ちの清けめ、まんじゅうなどを販売し、午前9時の売り出とともに大勢の客で賑わい、正午にはほとんど売り切れの状態でたいへん好評でした。

また、手作りの漬物や七色と

うながら、手打ちの清けめ、まんじゅうなどを販売し、午前9時の売り出とともに大勢の客で賑わい、正午にはほとんど売り切れの状態でたいへん好評でした。

また、手作りの漬物や七色と

うながら、手打ちの清けめ、まんじゅうなどを販売し、午前9時の売り出とともに大勢の客で賑わい、正午にはほとんど売り切れの状態でたいへん好評でした。

また、手作りの漬物や七色と

うながら、手打ちの清けめ、まんじゅうなどを販売し、午前9時の売り出とともに大勢の客で賑わい、正午にはほとんど売り切れの状態でたいへん好評でした。

また、手作りの漬物や七色と

うながら、手打ちの清けめ、まんじゅうなどを販売し、午前9時の売り出とともに大勢の客で賑わい、正午にはほとんど売り切れの状態でたいへん好評でした。

この催しは、今年はじめて行われたもので、地城住民の連携感を深めるのがねらい。子供からお年寄りを中心利用されますが、将来は若い人たちにも利用してもらいたい、人と人とのつながりや明るい家庭づくりに役立てて欲しい」と小菅さんは話しています。

半かけてこのほど完成したもので、お年寄りや地城住民から大変喜ばれています。

できればかりのコートで行われる六美町文化祭は、11月14日、15日の二日間六美会館で開催されます。

この催しは、今年はじめて行われたもので、地城住民の連携感を深めるのがねらい。子供からお年

寄りを中心利用されますが、将来は若い人たちにも利用してもらいたい、人と人とのつながりや明るい家庭

づくりに役立てて欲しい」と小菅さんは話しています。

今後も続けていきたいと話してい

ました。



六美町で文化祭 開かれる

六美町老人クラブ連合会(土沢正一会長)と六美会館の共催による六美町で文化祭が開かれました。この催しは、今年はじめて行われたもので、地城住民の連携感を深めるのがねらい。子供からお年寄りを中心利用されますが、将来は若い人たちにも利用してもらいたい、人と人とのつながりや明るい家庭づくりに役立てて欲しい」と小菅さんは話しています。

この催しは、今年はじめて行われたもので、地城住民の連携感を深めるのがねらい。子供からお年

寄りを中心利用されますが、将来は若い人たちにも利用してもらいたい、人と人とのつながりや明るい家庭

づくりに役立てて欲しい」と小菅さんは話しています。

今後も続けていきたいと話してい

ました。



大勢の来訪者で賑わった文化祭

普及して、生活水準も高まっています

ます

が、下水道の普及率は、総人口に対してもまだ三十八セント(一九五五年度末、全国平均)で成田諸国に比べて大きさ立ちどまります。これまでは、昭和56年度から第五次下水道整備五年計画をスタートさせ、60年度末に人口普及率(一九五五年度末)を四四・八一セントまで高めています。

市街地下に網の目のように張りめぐらされた大小の下水管、シーバー場、下水処理場などを、下水道施設の建設は、多くの資金が必要です。この資金は、国の補助金から、借入金(地方債)、下水道の整備によって利益を受ける土地所有者等からの受益者負担金や税金などを財源としています。

下水道の建設は、国、地方公共団体、地域の人々の協力で推進されるのです。



公共下水道推進工事現場(下表町地内)

下水道の建設は、国、地方公共

団体、地域の人々の協力で推進さ

れるのです。

公共下水道推進工事現場

(下表町地内)





## 母親学級

の方(無料)  
検査内容  
胃ガス、肺ガス、  
心電図、血圧測定、尿

から始まります。(無料)  
1月の休日当番医  
診療時間は、午前9時~午後4時まで。当番医師の往診はできません。  
1日 島田 医院 安塚

年末年始の水道業務  
年末年始の水道業務は、12月24日から1月4日まで休みになります。  
1月12日 稲葉地区公民館  
1月19日 役場日本公民館  
1月26日 南大鷗地区公民館

と元旦、柄木斎場は、友引の所でそれぞれ休みになります。

毎週火曜日に心配ごと相談所を開いています。秘密は守ります。お気軽にご相談ください。

第一課  
午後1時30分  
①母子との諸制度と  
母子健康手帳  
②妊娠中の栄養  
③妊娠中の保健と生

活

申込方法

役場保健課へ

検査

電話予約して下さい

三ヶ月児検診

申込方法

役場保健課へ

検査

申込方法

役場

申込方法

役場